

サステナビリティ重要課題（マテリアリティ）の設定 および 2030 年度目標について

株式会社三井 E&S ホールディングス（代表取締役社長：高橋 岳之）は、当社のサステナビリティ重要課題（マテリアリティ）として「脱炭素社会の実現」、「人口縮小社会の課題解決」の2点を設定しました。さらに、具体的な取り組みおよび 2030 年度の目標値を定めましたのでお知らせいたします。

当社は、より環境に優しい LNG（液化天然ガス）や、次世代燃料であるアンモニアや水素を動力源とした船舶用ディーゼルエンジンの製造・開発を行っています。また、将来の排出ガスゼロに対応可能なコンテナ用ヤードクレーン（ニア・ゼロ・エミッション トランステーナ®）の販売やディーゼルエンジンを水素燃料電池（FC）電源装置へ換装したゼロ・エミッション（排出ガスゼロ） トランステーナ®の開発、さらにデジタル技術・サービス開発・普及など、事業活動を通じた社会課題の解決に取り組んでおります。

今回、具体的な重要課題や 2030 年度目標値を設定することで、地球温暖化防止や人口縮小社会の社会課題解決に向けた活動をさらに加速させます。

今後も、当社は、事業活動を通じて持続可能な社会の実現に貢献してまいります。

マテリアリティ	取り組み	2030 年度目標
脱炭素社会の実現	・環境負荷低減を実現した、グリーン燃料焚き船舶用エンジン、ニア・ゼロ/ゼロ・エミッション トランステーナ®の開発・販売	・CO ₂ 削減貢献量 550 万 t- CO ₂ /年 (▲66% *1)
	・グループ会社の生産活動における CO ₂ 排出量削減	・生産活動による CO ₂ 排出量*1 0.9 万 t- CO ₂ /年 (▲17% *2)
人口縮小社会の課題解決	・省力化と経済合理性を備えた効率的、効果的なサービス開発・普及	・トランステーナ®年間売上高比 自動化製品率 40%

*1 2019 年度比 *2 対象：機械事業における Scope1 及び 2

[本件に関するお問合せ先]

株式会社三井 E&S ホールディングス 経営企画部 広報室

電話：03-3544-3147